

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位数	2単位	小学科・学年	全科・2年
教科書	高校数学Ⅱ（実教）			副教材	高校サブノート数学Ⅱ（実教）		
学習目標	数学Ⅱは、数学Ⅰでは扱われなかったが数Ⅰと同様、基礎的かつ重要な内容を学ぶ。式の計算ばかりではなく、「図形と方程式」の章では平面図形のイメージを頭に描くことが必要である。						

評価の規準・観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
数学Ⅱにおける基本的な概念や原理・法則を体系的に理解しているとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察する力を身につけることができる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。 また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
評価の方法	授業中の取組や小テスト、レポート、グループワーク、プレゼンテーション、課題の提出、単元小テスト、課題テスト、定期考査など。	

学習の内容（特色を含む）			
月		月	
4	1章 複素数と方程式 1節 式の計算	10	2節 直線の方程式 3節 円の方程式
5	2節 複素数と2次方程式	11	第2期考査 4節 不等式の表す領域
6	3節 高次方程式 第1期考査	12	3章 いろいろな関数 1節 三角関数
7	4節 式と証明	1	2節 加法定理／弧度法
8		2	第3期考査
9	2章 図形と方程式 1節 点と座標	3	

担当者からのメッセージ及び特色	
1 授業	授業では多くの生徒を対象に話すので、既に知っているようなことを聞くこともあるかも知れないが、話の筋道が大切なので最初から最後までよく聴くことが大切です。
2 家庭では	家庭では練習問題を数多く解いてみる。その際答えを出すことだけでなく、答えに至る過程を重視し、間違った場合はどこで間違ったのかを突き止めておくことが重要です。